



発行者 福山市自治会連合会  
会長 河上 正次  
TEL 084 (923) 9633

・80学区(地区・町)・自治会(町内会)数 1,004

・加入世帯数 118,579 【2026年3月現在】

HPはこちらから

検索

福山市自治会連合会



## 2025年度(令和7年度)福山市自治会運営研究大会

### 会長挨拶から(要旨)

本日は、中村副市長、木村市議会総務委員会副委員長、藤井社会福祉協議会会長にご臨席いただき、厚くお礼申し上げます。今大会は、自治会(町内会)活動の推進に多大なご貢献をされてこられた方や、優秀な業績を挙げられた自治会(町内会)を表彰するために開催するものであります。本年度は、17名の皆様と8自治会(町内会)が表彰されます。誠にありがとうございます。本日の表彰を契機とされて、これからも益々のご活躍を期待いたしております。

1月には、鳥取県で最大震度5強の地震が発生しました。南海トラフ地震は、30年以内に60%~90%程度以上(すべり量依存BPTモデル)と非常に高い確率で発生するといわれています。公的な支援があるまでは、一定の時間を要します。私たちの顔が見えるお付き合いが力を発揮するという自覚を持ち、活動してまいりたいと考えております。最後になりましたが、皆様方の今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



福山市自治会連合会  
会長 河上 正次



受賞者の皆様



〈講演〉  
福山南病院 平岩千尋さん



〈アトラクション〉  
JYO(ジャオ)さん

■地域自治活動功労者に対する感謝状贈呈要領に基づく表彰【市長感謝状】連合会長10年以上  
平田 彰(川口東)・杉原 均(山手)

■福山市自治会連合会表彰規程に基づく表彰【連合会長の部】通算5年以上  
出原 敬三(駅家)・久保 辰己(加茂)・松本 正志(神辺)・梶原 祐爾(常石ともに)  
小出 純二(坪生)・坂本 始(日吉台)・平見 光宏(箕島)

■福山市自治会連合会表彰規程に基づく表彰【自治会(町内会)長の部】通算10年以上  
出原 敬三(駅家)・菅本 栄介(川口)・広江 文男(川口)・藤本 邦雄(桜丘)  
渡邊 賢司(光)・井口 孝二(東)・大本 正治(東)・藤井 勝利(広瀬)

■福山市自治会連合会あけぼの基金要綱に基づく表彰  
【住みよいまちづくりをすすめる自治会(町内会)を顕彰して行うもの】  
立河内自治会(能登原)・粟根西町内会(加茂)・七日市上自治会(神辺)  
本庄町中三丁目町内会(樹徳)・曙町中央町内会(曙)・不動里町内会(引野)  
徳島自治会(松永)・西中町内会(田尻)

〈ひとつでも ぶんべつしよう リサイクル 〉



地域自治活動功労者に対する感謝状贈呈



連合会長の部



自治会(町内会)長の部



あけぼの基金要綱に基づく表彰

(広告)

# Kakogawa Journal

資源をつなぐ。地域とはぐくむ。  
令和8年上半期号 かこ川商店 神辺町川南636-1

平日の資源回収で  
町内会さんの負担軽減!



平日に資源回収をする方法

①「紙類の日」を利用

ゴミステーションの  
②「空いた日★」を利用

ゴミ収集日					
月	火	水	木	金	土
燃える	★	不燃・資源	燃える	プラ	★

これまで日曜・祝日に資源回収を実施していた町内会さんも、平日と休日の両方で実施するパターンが増えてきました。例えば、「紙類の日」を利用した回収と「ゴミステーションの空いた曜日」を利用する方法があります。平日の回収により、自宅に保管する量が少なくなり、各家庭の負担が軽減されます。※①の場合、あらかじめ市役所に所定の届出が必要です。

資源回収を実施されている方からの  
こんなお困りごとを解決しました!

軽トラックの所有者(農家)が減り、回収に協力してもらえ  
る台数が少なくなった。

引取り型に変更。

子ども会会員の減少で、回収に時間がかかるようになった。

物置設置型に変更。

福山市の補助金手続きのため  
平日に市役所に行くのが難しい

各支所でも受付可能。

### 町内会の役員さんへ

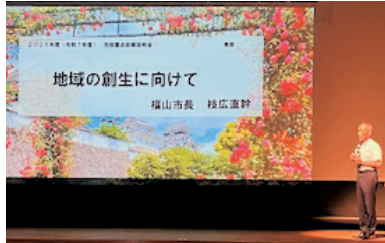
かこ川商店は、福山市北部に位置しております。  
遠方での回収は難しい場合もありますが、課題の整理・解決に向けての  
LINE 相談を無料で承っております。



### 市政重点政策説明会

6月30日(月)の本庁大会議室の会場を皮切りに、東部市民センター・北部市民センターにおいて、地域別に4回開催しました。

市長より『地域拠点の活性化に注力する』『市民生活を支える産業や道路、港湾などの都市機能の更なる強化を行う』『防災や防犯など安心安全な生活環境整備に取り組む』といった内容の説明があり、続いて教育長から『コミュニティ・スクールの導入』等について説明がありました。



### 組織強化推進部会より

8~10月にかけて、加入促進の取り組みを行いました。強化月間3カ月でみると、441世帯の増加に対し、398世帯の減少があり、結果43世帯の増加となっています。

9月5日(金)福山市市民参画センターにおいて、組織強化推進部会研修を開催いたしました。西学区より「西学区ITシステムについて」発表していただきました。11年前の交流館移設に伴い情報部会を立ち上げ、ホームページの新設や、メール配信システムを構築された経緯をお話ししていただきました。

### 地域要望に係る意見交換会

今年度の地域要望25件のうち、さらに行政と意見を交わしたいという8件について、意見交換の場を持ちました。県・市の担当者と直接意見を交わし、地元の思いを詳しく伝えることができ、有意義な協議となりました。

### 理事会

1月22日(木)労働会館みやびにおいて、理事会を開催しました。委任状を含む80名の理事が参加し、提出した議題は全て承認されました。

その後、理事研修会として「人権尊重のまちづくり」と題し、客本牧子さんにご講演をいただきました。“人は、国籍を超え、生まれながらにして無条件に大事にされる権利がある”という内容でした。自分の大切さ、まわりの人の大切さを考えるよい機会となりました。



### 全国自治会連合会 富山県富山大会

10月23日(木)富山市で開催され、全国自治会連合会推薦の、叙勲受章披露及び、全国自治会連合会表彰授与が行われました。記念講演では、「迫る南海トラフ地震と富山への影響」また、活動発表では、「ICT(情報通信技術)を活用した町内会の取り組みについて」が発表されました。

(大会参加者 600名)

### 中四国ブロック会研修会岡山市大会 (視察研修兼ねる)

2月16日(月)岡山市で開催され、全国自治会連合会の中四国ブロック6県が集いました。事例発表では、広島県から「福山市西学区ITシステムについて」と、鳥取県から「デジタルで自治会活性化」の2つが発表されました。

(研修会参加者 165名)

### 広報委員

部会長	藤井 俊昭(蔵王)	委員	森 武(今津)
副部会長	安倍 義弘(中条)	〃	三宅 住二(西深津)
副部会長	出原 敬三(駅家)	〃	花谷 忠厚(光)
幹事	大畠 功之(赤坂)	〃	天満 晴夫(伊勢丘)
		〃	末吉 英治(千年)

(広告)

## ワンタッチテントの販売・レンタル・出張修理 はおまかせください

運動会

お祭り

イベント

簡単設置! 簡単撤収!  
大人2~3人でOK!

フレーム1年間保証。アフターサービスも充実。



TEL: 084-982-7261

FAX: 084-982-7262

メール:

one\_touch\_tent@yahoo.co.jp

福山市箕島町南丘 6534-1

ワンタッチテント福山

お気軽にお問合せください。



千田学区町内会連合会  
会長 藤井 誠司

### 「千田沼が市街地に変貌」

千田学区は、福山駅の北方約4kmに位置し、西を芦田川、北を高屋川が流れ、南と東を蔵王山に連なる丘陵に囲まれた日当たりのよい地域です。盆地地形のため、昔は大雨が続けば大沼田になり「千田沼」と呼ばれていましたが、1961(昭和36)年から現在のJFEの福山進出に伴ない、鉄鋼センターや新興住宅団地が造成されるなど、地域は大きく変化しながら発展を続けてきました。

さらには、地域課題である排水施設を整備するためには、市街化区域の指定を受ける必要があることから、住民の熱心な運動もあり1982(昭和57)年にその指定を受けることができました。以来、水路や排水ポンプなどの整備が進められてきています。

市街化区域の指定により住宅地の整備が飛躍的に進み、現在(2025年3月末)の千田学区の世帯数は5,280、人口は11,448人となっており、比較的若い世代の転入により高齢化率は約25%と、市の平均



千塚おどりの参加者

を下回っています。学区では、こうした若者と高齢者が役割分担しながら、夏祭りやスポーツ祭、とんど祭りなど、様々な親睦行事が一年を通して実施されています。

また、地域の伝統芸能として「千塚おどり」や「向東跳ね踊り」などがありますが、いずれも参加者の高齢化が課題となる中、最近では千田小学校や盈進学園の生徒さんが加わり、少し希望の光が見えています。これからも元気で明るいまちづくりに向け、学区全体で取り組んでまいります。

山野町町内会連合会  
会長 榊原 睦也

### 「山野町のこの3年間の歩み」

福山市の学校再編計画実施により、学校が閉校して3年が経ちます。これからの住み良い暮らしを目指し「山野町まちづくり協議会」を立ち上げました。

最終的に空き家等を紹介する「山野町田舎暮らしおすすすめ隊」、町民のお困り事に対応する有償ボランティア団体「山野おたすけ会」、加茂小学校や中学校、フリースクール等の子どもたちの体験学習を支援する「山野町学習活動支援会」の新たな3つの団体を作り、それぞれ取り組みを始めています。この活動には、「山野民俗資料保存会」「やまの里山クラブ」の皆さんも協力しています。

現在、旧山野中学校の校舎を活用した、新たな交流館構想の話が具体的に進んでいます。交流館機能だけではなく、複合的なまちづくり拠点となる予定です。また、旧山野小学校のグラウンドは、サッカークラブが活動しています。

さらには、地域一体となり「山野ふるさと祭り」や「水車かたと語りさいん祭」等を開催しています。中止していた冬至の日の伝統行事「お月さん」も復活しています。

このように、山野町は年間を通して、猿鳴峡えんめいきょう、キャンプ場、山野農村公園等に多くの方が訪れ、清流小田川が流れる自然豊かな町です。ぜひお越しください。



第11回山野ふるさと祭り

※次回の掲載は、東村町と竹尋学区です。